

政策 4 - 5 魅力ある都市拠点を整備する

1 政策の方向性

- 本市では首都圏に位置する地理的優位性を活かした商業、業務、都市型住宅等の都市機能の強化と、隣接する東京都・横浜市の都市拠点と連携した魅力と活力にあふれた都市拠点づくりに取り組んできました。
- 都市基盤の整備は地域の活力や賑わい、さらには大きな経済効果を生み出すことから、今後も引き続き、臨空・臨海都市拠点、川崎・小杉・新百合ヶ丘の広域拠点の整備を中心とした広域調和型まちづくりの更なる推進を図ります。
- また、超高齢社会を見据えた誰もが暮らしやすいまちづくりをめざし、複数の鉄道路線が結節する駅等を中心とした利便性の高い地域生活拠点等の形成を推進し、魅力あるまちづくりを進めます。

(川崎市基本計画)

2 市民の実感指標

市民の実感指標の名称 (指標の出典)	計画策定時 (H27) [2015]	現状 (R1) [2019]	目標 (R7) [2025]
市内の広域拠点駅（川崎駅、武蔵小杉駅、新百合ヶ丘駅）の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合 (市民アンケート)	70%	63.2%	70%以上
市内の地域生活拠点駅（新川崎・鹿島田駅、武蔵溝ノ口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合 (市民アンケート)	52.6%	39.0%	52.6%以上

3 施策の体系

政策 4 - 5 魅力ある都市拠点を整備する

施策4-5-1 魅力にあふれた広域拠点の形成

施策4-5-2 個性を活かした地域生活拠点等の整備

施策4-5-1 魅力にあふれた広域拠点の形成



KAWASAKI
SDGs



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

1 これまでの主な取組状況

- 川崎駅周辺地区では、民間活力を活かしたまちづくりにより、さまざまな都市機能をバランスよく誘導するとともに、歩いて移動しやすい歩行者空間を創出するため、JR川崎駅北口通路や西口駅前ペDESTリアンデッキを整備してきました。また、JR川崎駅西口大宮町地区A-2街区では、オフィス・ホテル等の機能導入とあわせ、緑地等の整備を行う民間開発事業を誘導しています。羽田空港や臨海部の玄関口である京急川崎駅周辺では、京急電鉄と包括連携協定を締結し、土地利用の誘導に取り組んでいます。さらに、東口の既成市街地では、空きビルの増加などによるまちの活力や魅力の低下に対応するため、リノベーションのまちづくりを進めています。
- 小杉駅周辺地区では、多様な都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせるまちづくりを推進しています。駅南側では、商業施設や住宅、公共公益施設の整備にあわせ地区幹線道路等を一体的に整備した小杉町3丁目東地区市街地再開発事業が完了しました。駅北側では、医療・福祉、文化・交流機能を中心としたまちづくりに向け事業を推進するとともに、令和2（2020）年9月にまちづくり方針を策定した小杉駅北口駅前では、土地利用の誘導や都市基盤の強化に向けた取組を進めています。また、駅及び駅周辺の混雑緩和に向け、鉄道事業者等と連携して、JR横須賀線下りホーム新設及び新規改札口設置について、取組を推進しています。
- 新百合ヶ丘駅周辺では、商業・業務機能の集積に加え、文化・芸術施設の立地や豊かな自然環境などの地域資源を活かした、賑わいや魅力あるまちづくりに取り組んでいます。近年は、駅周辺の公共的空間を活用して「しんゆりステーションピアノ」や「しんゆりフェスティバル・マルシェ」を開催するなど、地域と連携し、更なるまちの賑わいや魅力向上に寄与する取組を進めています。また、公共交通利用をより一層促進するため、スマートフォンアプリを活用したMaaSの実証実験を実施するなど、地域の課題解決に向けて沿線の鉄道事業者等と連携した取組を進めています。



JR 川崎駅北口通路



小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業



しんゆりフェスティバル・マルシェ

2 施策の主な課題

- 川崎駅周辺地区では、本市の玄関口としてふさわしい、多様な賑わいや交流が生み出す魅力と活力にあふれた拠点形成を展開するため、社会変容を踏まえつつ、民間活力を活かした都市機能の集積を図るとともに、回遊性・利便性の向上のための都市基盤の整備や、公共空間や既存ストックを活用した賑わい創出に向けた取組の一層の推進が必要です。
- 小杉駅周辺地区では、これまでに取り組んできた事業等を着実に推進しながら、民間活力を活かして更なる都市機能の集積を図っていくとともに、社会変容を踏まえた持続可能な魅力あふれるまちづくりに向け、都市基盤の強化、公共的空間の活用、都市機能の充実等に取り組む必要があります。また、駅及び駅周辺の混雑に対する安全性・利便性の向上に向け、鉄道事業者等と連携した交通基盤の強化のための取組を進める必要があります。
- 新百合ヶ丘駅周辺地区では、豊かな自然環境や芸術・文化等の地域資源、充実した都市機能を活かした、より質の高い、魅力ある拠点形成が求められています。横浜市高速鉄道3号線の延伸計画などの進捗や社会変容を踏まえつつ、周辺環境の変化を見据え、適切な土地利用転換の誘導や交通結節機能の強化に向けた取組を進める必要があります。

3 施策の方向性

- ★ 川崎駅周辺地区における川崎の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備の推進と賑わいの創出等に向けた取組の推進
- ★ 小杉駅周辺地区におけるコンパクトに集積した都市機能の誘導と賑わい等の創出、安全性・利便性の向上に向けた交通基盤の強化の推進
- ★ 新百合ヶ丘駅周辺地区における周辺環境等の変化を見据えた土地利用転換の誘導と交通結節機能の強化に向けた取組の推進

4 直接目標

- 川崎・武蔵小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める

5 主な成果指標

名称 (指標の出典)	計画策定時	現 状	第1期実施計画期間 における目標値	第2期実施計画期間 における目標値	第3期実施計画期間 における目標値
広域拠点（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の駅周辺人口 (川崎市統計書)	12.6万 人 (平成26(2014)年度)	14.0万 人 (令和2(2020)年度)	12.9万 人以上 (平成29(2017)年度)	13.9万 人以上 (令和3(2021)年度)	14.5万 人以上 (令和7(2025)年度)
広域拠点（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の駅平均乗車人員 (川崎市統計書)	52.4万 人/日 (平成25(2013)年度)	58.6万 人/日 (令和元(2019)年度)	53.8万 人/日以上 (平成28(2016)年度)	58.8万 人/日以上 (令和2(2020)年度)	59.8万 人/日以上 (令和6(2024)年度)

※ その他成果指標として「拠点駅周辺をさまざまな施設が充実した回遊性の高いまちと思う人の割合」を設定しますが、現在調査中のため、調査結果をもとに目標値を今後設定します。

6 計画期間の主な取組

事務事業名	事業内容・目標		
	現状 令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度	
川崎駅周辺総合整備事業 川崎駅周辺地区については、社会変容を踏まえながら、本市の玄関口にふさわしい、多様な賑わいや交流が生み出す活力と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎駅周辺総合整備計画」に基づく計画的なまちづくりの推進 ・計画に基づく取組の推進 ●駅周辺の利便性・回遊性等の向上に向けた取組の推進 ・大宮町地区民間活用事業者の決定(R2) ●川崎駅東口地区の民間開発事業の誘導・支援 ・協議会開催支援 ●川崎駅周辺における公共空間の有効活用による賑わいの創出等に向けた取組の推進 ・広告事業の本格実施 ・公共空間を活用したイベント等の効果検証 ・ネーミングライツや北口通路広告事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づく事業推進、計画の見直しの検討 ・大宮町地区民間活用地区施設整備事業の推進 ・その他周辺地区における取組の推進 ・民間開発事業に関する誘導・支援の取組の推進 ・川崎駅周辺地区における広告事業の推進と更なる取組に向けた検討 ・公共空間を活用したイベント等の効果検証を踏まえた取組の推進 ・ネーミングライツの実施、北口通路の広告展開 	事業推進
京急川崎駅周辺地区整備事業 京急川崎駅周辺地区については、社会変容を踏まえながら、羽田空港との直結などの地理的優位性を活かし、本市の玄関口にふさわしい商業・業務等の集積による賑わいを民間主導で創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針」に基づく民間開発事業の誘導・支援 ・川崎駅北口第2街区の建築工事中着手(R2) ・「戦略的な整備誘導の考え方」策定(R2) ・京急川崎駅西口地区の事業化に向けた協議調整 ●「京急川崎駅周辺地区まちづくり整備方針」に基づく都市基盤整備等の推進 ・道路等設計の実施(R2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎駅北口第2街区に関する取組の推進、建築工事も完了 ・京急川崎駅西口地区に関する都市計画手続や設計等の推進 ・周辺地区における土地利用転換等の誘導 ・道路等工事の推進 	事業推進
小杉駅周辺地区整備事業 小杉駅周辺地区については、民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅や商業、業務、公共施設などがコンパクトに集約した、地域の中心の位置する広域拠点として、社会変容を踏まえた持続可能な魅力にあふれた都市拠点の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●小杉駅北口駅前地区(駅前広場等)に関する取組の推進 ・関係者等との協議・調整 ●民間開発の誘導 ・日本医科大学病院完成 ・関係者等との協議・調整 ●総合自治会館跡地等の活用や周辺まちづくりの取組の推進 ・土地利用方針の策定(R1) ●公共的空間を活用した滞在環境の向上に関する取組の推進 ・社会実験の実施・検証(R2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者等との協議・調整や都市計画手続等の推進 ・小杉北口地区における関係者等との協議・調整や都市計画手続等の推進 ・日本医科大学地区における病院跡地建築工事中 ・小杉駅東部地区の地区計画に基づく取組の推進 ・総合自治会館跡地活用事業の工事も完了、事業推進 ・周辺まちづくりの動向を踏まえた調整・誘導 ・道路等を活用した社会実験や効果検証の継続実施 	事業推進
小杉駅交通機能強化等推進事業 武蔵小杉駅の利用者増加に伴う駅及び駅周辺の混雑状況に対して、鉄道事業者等と連携して安全性・利便性の向上に向けた交通機能の強化等の取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●武蔵小杉駅及び駅周辺交通機能強化等に関する取組の推進 ・新規改札口設置や新たなアクセスルート整備等に関する協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR横須賀線下りホーム新設や新規改札口設置に向けた取組の推進、供用開始 ・新規改札口への新たなアクセスルートの整備の推進、供用開始 ・周辺地区整備と連携した鉄道事業者等との協議・調整 	事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進捗管理・評価

政策体系別計画

事務事業名	現状	事業内容・目標	
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度	令和8(2026)年度以降
新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり推進事業 新百合ヶ丘駅周辺地区については、横浜市高速鉄道3号線延伸や社会変容等の環境変化を踏まえ、豊かな自然や地域資源を活かしながら、民間活力による土地利用転換の誘導と交通結節機能の強化を図るための総合的な取組を推進することで、より質の高い、魅力ある広域拠点の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺地区のまちづくりに向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方の取りまとめ(予定) ● 民間開発の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・誘導・促進 ● 駅周辺における公共空間の利活用による賑わいの創出等に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・検討・調整 ● 小田急電鉄との包括連携協定に基づく取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・検討・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの基本的な考え方に基づく交通結節機能の強化の検討 ・まちづくり方針策定に向けた取組の推進 ・土地利用転換等の誘導 ・事業化に向けた取組の推進 ・駅周辺の魅力の増進に向けた取組の推進 	事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価

施策4-5-2 個性を活かした地域生活拠点等の整備



KAWASAKI
SDGs



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

1 これまでの主な取組状況

- 交通結節点である鉄道駅を中心とした地域生活拠点では、市街地開発事業等により商業、業務、都市型住宅等の機能の集積を図るとともに、バリアフリーに配慮した交通広場等の都市基盤の整備等を行うことで、安全で快適な利便性の高い都市機能がコンパクトに集約した拠点の形成に向けてまちづくりを進めています。

登戸土地区画整理事業の進捗状況

	平成22年度 (2010年度)	平成27年度 (2015年度)	令和2年度 (2020年度)
仮換地 指定率	59.1%	75.2%	93.6%
宅地使用 開始面積率	43.5%	55.3%	74.3%

資料：まちづくり局調べ

- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、土地区画整理事業が終盤を迎えるとともに、令和3（2021）年7月に「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」を策定し、更なるまちの魅力や賑わい創出に向けた取組を推進しています。また、鷺沼駅周辺地区では、平成31（2019）年3月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定し、再開発の機会を捉えた、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進しています。
- 鉄道沿線を中心に展開する生活行動圏では、広域拠点等の整備の波及効果を効率的かつ効果的に活用するため、それぞれのエリアの特性を活かした身近なまちづくりを推進しています。
- 広域拠点や地域生活拠点以外の交通利便性が高い身近な駅周辺では、各鉄道業者との包括連携協定の締結などを通じ、鉄道を軸に、地域の特性や課題に応じた沿線地域のまちづくりを進めています。

2 施策の主な課題

- 地域生活拠点等では、社会変容を踏まえつつ、それぞれの地域特性や個性を活かし、安全・快適で利便性が高く多様なライフスタイルに対応した都市機能がコンパクトに集約するまちづくりを推進していくことが求められています。市街地開発事業等により、複合的な都市機能の集積とともに、都市基盤の整備に取り組む必要があります。
- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、生田緑地や多摩川など豊かな自然環境や文化施設等のまちのポテンシャルと民間活力を活かした拠点形成を図る必要があります。また、鷺沼駅周辺地区では、社会変容を踏まえつつ、駅を中心に多様なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化による、宮前区全体の活性化を促す「核」としての拠点の形成を図る必要があります。
- 鉄道沿線に展開する生活行動圏では、拠点整備の効果を効率的かつ効果的に沿線地域へ波及させていくとともに、それぞれの特性を活かした身近なまちづくりが求められています。地域の特性や課題に応じた交通や生活の利便性の充実など、地域住民の暮らしを支える取組を進める必要があります。

3 施策の方向性

- ★ 利便性が高く多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積や交通結節機能の強化などをめざした市街地再開発事業等による地域生活拠点の整備
- ★ 地域特性に応じた多様な主体との連携による鉄道沿線まちづくりの推進と身近な駅周辺等の整備

4 直接目標

- 新川崎・鹿島田、溝口、鷺沼・宮前平、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺の魅力を高める

5 主な成果指標

名称 (指標の出典)	計画策定時	現 状	第 1 期実施計画期間 における目標値	第 2 期実施計画期間 における目標値	第 3 期実施計画期間 における目標値
地域生活拠点（新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）の駅周辺人口（川崎市統計書）	17.5万 人 (平成26（2014）年度）	19.0万 人 (令和2（2020）年度）	17.6万 人以上 (平成29（2017）年度）	18.4万 人以上 (令和3（2021）年度）	19.6万 人以上 (令和7（2025）年度）
地域生活拠点（新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）の駅平均乗車人員（川崎市統計書）	47.3万 人/日 (平成25（2013）年度）	50.1万 人/日 (令和元（2019）年度）	47.8万 人/日以上 (平成28（2016）年度）	49.5万 人/日以上 (令和2（2020）年度）	50.0万 人/日以上 (令和6（2024）年度）

※ その他成果指標として「拠点駅周辺をさまざまな施設が充実した回遊性の高いまちと思う人の割合」を設定しますが、現在調査中のため、調査結果をもとに目標値を今後設定します。

6 計画期間の主な取組

事務事業名	現 状	事業内容・目標	
	令和 3（2021） 年度	令和 4（2022）～ 7（2025） 年度	令和 8（2026） 年度以降
新川崎駅・鹿島田駅周辺地区まちづくり推進事業 新川崎駅・鹿島田駅周辺地区については、大規模な土地利用転換を契機とし、商業・都市型住宅・研究開発機能等の集積を図り、利便性の高い拠点形成に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●新川崎地区地区計画に基づく土地利用誘導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 ●民間開発の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 ●鹿島田駅前管理地の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・適正な維持管理及び利活用の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・鹿島田駅周辺地区における土地利用の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 ・適正な維持管理及び地域の賑わい創出の取組の実施 	事業推進

事務事業名	現状	事業内容・目標	
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度	
			令和8(2026)年度以降
鷺沼駅周辺まちづくり推進事業 鷺沼駅周辺地区については、社会変容を踏まえつつ、駅を中心に多様なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化を図り、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス危機を契機とした再開発事業の検証 ・都市計画手続の推進 ●東急との包括連携協定に基づく取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・取組の推進 ・駅周辺の魅力の増進に向けた取組の推進 ●鷺沼駅周辺地区の民間開発の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 ・継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画手続の推進、実施設計の実施 ・工事着手 	事業推進
登戸土地区画整理事業 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区については、土地区画整理事業による安全で快適な暮らしを支える都市基盤整備とあわせて、都市機能の強化を促進し、魅力と活力にあふれた市北部の拠点地区の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●整備プログラムに基づく集団移転の活用による整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・宅地使用開始面積率 74.3%(R2) ●換地処分・清算手続の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・換地計画策定手続の推進 ・換地処分 ・清算手続に向けた準備 ●多摩区の玄関口にふさわしいまちの賑わい創出に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画変更等によるまちづくり誘導 ・継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団移転の推進、移転の完了 ・都市計画道路・駅前広場等の整備の推進、整備の完了 ・民間の専門知識や経験を活用した円滑な移転交渉等の実施 	事業推進
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区については、まちづくりに関わる多様な主体と連携し、交通結節機能や自然環境、文化施設等のまちのポテンシャルと民間活力を活かした魅力的な拠点形成に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」に基づく魅力向上に向けた取組等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・向ヶ丘遊園駅南側まちづくりに向けた取組の推進 ・向ヶ丘遊園駅北地区の民間事業の誘導・支援 ・登戸駅前地区の共同化事業の推進 ・登戸2号線等における公共空間の有効活用による賑わい創出等に向けた取組の推進 ・多摩川や生田緑地等の関連事業と連携した水や緑などの自然が感じられるまちづくりに向けた取組の推進 	事業推進
柿生駅周辺地区再開発等事業 柿生駅周辺地区については、駅を中心に民間活力を活かした再開発事業を誘導し、商業や都市型住宅等の都市機能の集積、交通結節機能の強化に向けたまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「柿生駅周辺地区まちづくりビジョン」に基づく事業推進 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 ●柿生駅南南地区市街地再開発事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・事業化に向けた協議・調整 ・協議・調整 ●バス暫定広場の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・北口、南口地区のまちづくりの誘導 ・駅南北地区の連携に向けた検討 ・事業化に向けた協議・調整 ・都市計画手続等の推進 	事業推進
南武線沿線まちづくり推進事業 南武線沿線の土地利用転換の機会を捉えた戦略的かつ機動的な誘導により、地域資源と民間活力を活かした駅を中心とした魅力あるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●南武線沿線まちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 ●戦略的誘導地区における適切な土地利用の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 ●民間開発の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に合わせたまちづくりの誘導 ・西加瀬地区の民間事業の推進 ・鹿島田駅周辺地区における取組の推進 ・平間駅周辺地区における取組の推進 ・継続実施 	事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

事務事業名	現状	事業内容・目標	
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度	令和8（2026）年度以降
南武支線沿線まちづくり推進事業 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 「南武支線沿線まちづくり方針」や「小田周辺戦略エリア整備プログラム」に基づき、賑わいの創出や住環境の改善などによるまちの魅力向上を図り、沿線地域の持続的な発展に向けたまちづくりを推進します。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●「南武支線沿線まちづくり方針」に基づく事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・方針に基づく取組の推進 ●小田周辺戦略エリアにおける取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの策定（H30） ・道路機能強化等に向けた協議・調整、取組推進 ・まちのルールづくりに向けた協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施 ・「小田周辺戦略エリア整備プログラム」に基づく取組の推進、プログラムの改定 ・エリアの将来像の検討 ・道路機能強化等の取組推進 ・地区計画の検討等によるまちのルールづくりの推進 ・南部防災センター敷地等の利活用方針のとりまとめ 	事業推進

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価